

この教材について

『「日本銀行」と私たちの暮らし』は、須田美矢子元審議委員* が、2005 年夏に中学生を対象として、日本銀行で行った授業の内容を編集した指導用教材です。

須田美矢子 東京大学大学院経済学研究科博士課程単位取得。学習院大学経済学部教授等を経て 2001 年 4 月日本銀行審議委員就任。2011年3月退任。

内容は、中学社会・公民的分野の「国民生活と経済」-「私たちの生活と経済」の中の、「金融の働き」や「日本銀行」の単元に相当しています。

主として、社会科の先生方に、抽象的でわかりにくい金融分野の指導の参考にしていただくために作成しました。

また、実際に中学生向けに行った授業を素材としておりますので、中学生の皆さんが見ても十分理解できる内容となっています。

一般の方々にとっても、音声とアニメーションで、お金や銀行の役割、日本銀行の基本的な仕事を短時間で理解できるコンテンツとしてご利用いただければ幸いです。

教材の使い方

全体は「お金」「モノの値段」「銀行の役割」の 3 つに分かれており、それぞれ独立していますので、どのお話から見てもかまいません。

各話は、10～15 のムービーに分かれています。1 つのムービーは原則 1 つのテーマを 2～3 分程度で取り扱っていますので、まずは順を追ってご覧ください。また、各ムービーのタイトルから、ポイントを絞り、好きなテーマだけを選んでご覧頂くこともできます。

なお、ナレーションと説明のポイントとなる図は、PDF でまとめて印刷することができますので、ムービーを見る際の手許資料として、また授業の予習・復習等にお使いください。

教材の内容

本教材は、お金と金融の働きについて、身近な具体例を用いて、短いムービーとナレーション、まとめの図表を用いて説明しています。ナレーションは、ムービーの下部に表示されます。

全体は、「お金」「モノの値段」「銀行の役割」の3つに分かれており、各話は、日本銀行の3つの仕事（お札の発行、物価の安定、金融システムの安定への貢献）にそれぞれ対応しています。

- 「**お金**」では、お金（お札、硬貨）の機能を始め、日本銀行によるお札の発行、お金の流通経路や偽造防止技術を知ること、身近なお金について学びます。
- 「**モノの値段**」では、価格の決定メカニズムや景気変動、インフレ・デフレについて、具体例で学び、日本銀行が行う金融政策を理解します。
- 「**銀行の役割**」では、お金を預かる、貸す、送るといった銀行の役割から、抽象的な「金融の働き」を理解するとともに、金融システムの安定のために日本銀行が果たす役割も学びます。

教材の内容

◇ 各話のポイント

お金

「お金(貨幣)の機能」と、日本銀行の役割「お札の発行」

- はじめに: 日本銀行の仕事と政策委員会
- お金が存在することの便利さと、お金の3つの機能「価値交換」「価値尺度」「価値保存」
- 耐久性、分割可能性など、お金として機能するための条件
- お金には人々の「信頼」が必要
- お札の一生（お札の印刷、発行、流通、還流、廃棄・リサイクル）と日本銀行
- お札の偽造防止技術と、出来心の偽造の恐ろしさ
- 世の中をめぐる「お金」の動き

モノの値段

「モノの値段の決まり方」と、日本銀行の役割「物価の安定」

- モノの値段の決まり方——費用、利益、需要と供給
- 景気がよい、悪いとはどういうことか
- インフレ、デフレとはどういうことか
- モノの値段(物価)の安定のために、日本銀行が行う金融政策

銀行の役割

「銀行の役割」と、日本銀行の役割「金融システムの安定への貢献」

- 銀行の役割
 - 「お金を預かる」、「お金を貸す」——金融仲介機能
 - 「お金を送る」——銀行振込のしくみ
- 日本銀行の役割
 - 金融機関同士のお金のやり取りをとりもつ
 - 金融機関の経営実態のチェック
 - 「最後の貸し手」 お金の流れを守る日本銀行
- まとめ: 日本銀行の仕事